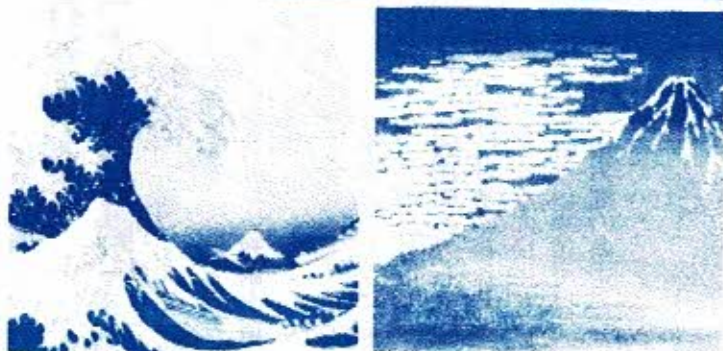


退職者会の秋のイベント参加者募集中

千代田
区職員

退職者会ニュース

第2023-8号
23年10月20日
退職者会
ニュース
編集委員会
3221-0052すみだ北斎美術館
& ちゃんこ鍋

11月16日(木)

恒例の退職者会秋のイベントが決まりました。今回は、葛飾北斎のふるさと・墨田区を訪ねます。まずは「すみだ北斎美術館」を見学し、そのあとは大相撲の中心地・両国で「ちゃんこ鍋」の昼食です。

秋の紅葉を愛でる、といったこれまでの趣向をちよつと変え、「芸術の秋」と「食欲の秋」を同時に堪能しようという企画です。

コロナ禍の4年間、家に逼塞していた私たちの体力はかなり落ちてしまっています。また、異常な気象状況の下で、体調の不調を訴える人も多いようです。この際、退職者会のイベントに参加して、コロナ前の日常生活を取り戻し、体調を整えるきっかけにしてみたいかがでしよう。会員、ご家族等のみなさんの参加をお待ちしています。

<日程> 11月16日(木)

<集合時間・場所> 午前10時
都営地下鉄 大江戸線両国駅
A3出口(地上)前

* JRで来られる方→JR両国駅東口に9時50分まで担当者がいます。集合場所を案内致します。申し込みの際、JRで来ることをお伝えください。

<参加申し込み>

組合事務室まで 電話 03-3221-0052
〆切 11月8日(水)まで

<参加費>

2200円(昼食代)

「ほくさい美術館」入館料は退職者会が負担します。

葛飾北斎

北斎は墨田区に生まれ、その90年にも及ぶ長い生涯のうち、90回以上も引越をしたといわれますが、そのほとんどを「すみだ」で過ごしながら、多くの名作を残しました。作品の中には、両国橋や三囲神社、牛嶋神社など、当時の「すみだ」の景色を描いたものが数多くあります。

なお、葛飾北斎の「葛飾」は、出生地である「すみだ」を含む地域が、武蔵国葛飾郡であったことから名乗ったといわれます。

すみだ北斎美術館

世界的な画家として評価の高い葛飾北斎は、宝暦10年(1760年)に本所割下水付近(現在の墨田区亀沢付近)で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごし、優れた作品を数多く残しました。

「すみだ北斎美術館」は、墨田区の偉大な芸術家である北斎を、区民の誇りとして永く顕彰し、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、開設されました。

第3回生活状況調査を実施します

5年ぶりの生活状況調査を実施します。この調査は、① 会員の生活状況から、一人暮らしなどの居住実態や生活環境などを把握し、今後の会活動の参考にする。

② 会員の趣味や活動サークルなどを知ることにより、会活動に生かしてもらえる方途を考える。

③ 前回(5年前)結果と比較して会員の生活状況の変化をつかみ、今後の会活動の参考にする。

といった目的で実施するものです。

このニュースと一緒に調査用紙をお送りしますので、同封の返送用封筒で12月末までに返送してください。回収させていただいた調査票の集計と分析結果は会ニュースで報告します。さらに分析結果を来年度以降の活動方針等や、日々の取り組みに反映するよう努めていきます。

調査対象会員は再任用や会計年度任用を除いた会員全員です。調査用紙が届いた方はぜひ、ご協力をお願いします。

健康保険証の存続を求め

署名への協力、ありがとうございます。

岸田政権がすすめるマイナンバーカードの普及を目的とした健康保険証の廃止とマナカードへの一体化は、多くの国民の批判を浴びています。退職者会はこの暴挙に対し、健康保険証の存続をめざして署名に取り組んできました。これまでに、93筆分が集約でき、取り扱い団体に送付しました。ご協力ありがとうございました。実施予定の来年の秋までまだ1年あります。がんばりましょう。

「戦争法」強行採決から 8年目の「19日行動」

服部 明

9月19日、国会議事堂の北側の議員会館前には1100人の人々が集まりました。この日は8年前にいわゆる「戦争法」が強行採決された日に当たります。

8年前、雨の降りしきる国会周辺を深夜まで埋め尽くして「戦争法案」の採決に反対した人々の熱い思いは、今も冷めていないことを証明する94回目の集会となりました。8年前のこの日から「戦争法廃止」を掲げて毎月19日に「19日行動」と呼ぶ議員会館前の集会が続けられ、今回で94回を数えたのです。

国民を侮る歴代自民党政権は、どんな悪辣な手段を使って民意を押しつぶし怒りを買っても、年月が経て

ば国民は「忘れる」という過去の都合の良い教訓を信奉してきました。

残念なことに、そう信じ込ませる事態はたしかにありました。この忘れてしまったという国民側の悪しき習慣（それは日常の暮らしに追いつめられる庶民にとつてやむを得ない事情ではある）が、権力側の暴走を許してしまっていることは否めません。

けっして忘れない、
あきらめない

しかし、8年前の9月19日の国会を取り巻いた人々の思いは違いました。この日の暴挙は決して忘れない、「戦争法」は廃止す

るまでたたかう、という固い誓いを胸に秘めたのです。その秘めた思いはすぐさま行動に表すことになりました。

一連の「戦争法」反対運動の中から市民と野党の共同をめざす運動体として「総がかり行動実行委員会」や「市民連合」が生まれ、9月19日を忘れないとの思いを行動に表す「19日行動」が始まったのです。

この行動に込められた強い思いは、酷暑や酷寒の日も雨の日も風の日も、コロナ禍の中でも、欠かさず行われていることに現れています。議員会館に響き渡る集会の声は、悪法を強行した議員たちの耳にいやでも突き刺さっていることでしょう。そして「決して忘れない」という市民の強い思いを肌で感じたことでしょうか。

退職者会の奮闘

退職者会は、2015年の夏から秋にかけて「戦争法」反対の国会行動に連日取り組みました。9月14日には恒例の1泊旅行会を終えて、バスを降りたその足で国会前に駆け付けるといったこともありました。8月30日には10万人の国会包囲に会員16人が参加しました。その後始まった毎月の「19日行動」には、今年9月までの全94回中63回、延べ378人の会員が参加してきました。（コロナ禍では20回不参加）文字通り雨の日も風の日も、といった取り組みで、70歳以上の高齢者も老体に鞭打って、元気に参加しています。

「戦争法」廃止は いよいよ重要

悪政、暴政を国民は決して忘れないというメッセージを、国民を侮る権力に送り続ける意義は大きいと思います。しかし、それだけで終わることはできません。今、岸田政権が国民にまともな説明もしないままに押し進めている大軍拡、戦争

を放棄した憲法に明らかに反する敵基地攻撃を可能とする武器の大量調達、南西諸島が戦場になることを想定した訓練や基地の増強、こうした戦争準備を進める根拠となっているのが集団的自衛権保有の閣議決定と「戦争法」だからです。何としてもこの法律を廃止する、というさらに強固な意志と行動が求められます。

この8年間に戦争をする国へ事態はますます悪化しており、「戦争法」廃止の課題はいよいよ重要になっているのです。もはや、ただ長く続けているというだけでは進行している事態には無力です。もう数倍の行動力を発揮しなければ、8年目の「19日行動」に参加して、その思いを強くしました。

絵本読み聞かせ ボランティア活動を楽しむ 櫻井 和恵

社会的に高齢者と呼ばれる歳を迎えた7年前、地域の高齢者安心センター主催のシニア絵本読み聞かせ学習サロンの募集を見つけ早速申し込んだ。一年間絵本読み聞かせ講座で学び、社会福祉協議会の地域ささえあい活動団体の一つ「絵本読み聞かせカサネット」に入会。小学校、保育園、児童館、高齢者施設、高齢者サロンなどで読み聞かせのボランティアを行っている。活動はあくまでもボランティアなので無理をせず、都合や場所などを選んで参加できること

で楽しく続けられている。絵本の読み聞かせには様々な効果があるといわれている。効果の一番は認知症の予防につながるという。記憶をつかさどる「海馬」は加齢に伴い減少するが東京都健康長寿医療センターの研究では、絵本読み聞かせを続けたグループと活動していない人のグループでは、6年後に読み聞かせグループでは海馬の減少が0・5%減に対し、活動していないグループで4・1%減と大きな差が出たとの報告がある。

また読む人、聞く人達の多世代交流で地域のお役に立てること、読み聞かせを楽しむに待っている人がいて、そのことによって読む人にも喜びや意欲が生まれ元気になるなど読み聞かせ効果は大きい。

読み聞かせは聞く対象によって選書する、絵本を持つて立つ、しっかりと声を出すなどが必要になる。現在も月に1回講師を招いての勉強会を続けながら体力をつけることにも心がけている。

今後とも地域の方々との交流と自分自身の健康寿命を少しでも長くできるよう、楽しみながら絵本の読み聞かせを続けていこうと思う。

新連載

お住まいの地域での活躍を紹介してください

町内会や自治会、趣味のサークル、くらしや平和を守る運動等々、会員みなさんの多くはお住まいの地域で様々なとりくみに参加されていることでしょう。そんな活動の一端を、ぜひこのニュース紙面で紹介してください。

くらしと平和を壊し続ける岸田政権の1年

2年前、「新しい資本主義」を掲げ「聞く耳を持つ」と嘯いて発足した岸田政権ですが、やってきたのは安倍・菅政権の継承に他ならないことが明らかになっています。

憲法を無視して進める大軍拡・戦争準備

この1年をみても昨年12月の安保関連3文書改定を国会も通さずに決めた、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有や5年間で43兆円もの大軍拡に突き進んでいます。

9月に防衛省が2024年度に北海道、宮崎、鹿児島、沖縄の4道県の陸上自衛隊施設9カ所で弾薬庫の整備に着手する方針を固めました。これも安保関連3文書に長射程ミサイルなど弾薬の

運用について議論を加速させることも確認したことが報道されました。

社会保障改悪・物価高騰放置・くらしを壊す

その一方で昨年10月から一定の所得がある後期高齢者の医療費窓口負担が2割に引き上げられ、4月には75歳以上の医療保険料が引き上げられるなどの高齢者いじめが行われてきました。

昨年から続く物価の高騰はその要因の一つとされるのが深刻な円安ですが、それを作り出した「異次元の金融緩和」は変えないままです。

岸田首相は「賃上げを

したまま強行しており、今後さらなる社会保障費の削減や増税が予想されています。

国民の声聞かず、説明抜きで暴走

「被爆地出身の総理大臣として、私が目指すのは『核兵器のない世界』です」こう所信を述べた岸田首相でしたが、5月に開かれたG7広島サミットでは核兵器による抑止力を肯定する共同文書「広島ビジョン」を被爆地から発して多くの批判を呼びました。

原発政策もエネルギー価格の高騰を理由に「福島以前」に回帰。原発の

9条の会大集会に参加して

渡辺 富子

10月5日、なかのZEROホールで開かれた「9条の会大集会」に参加しました。「大軍拡に反対し、憲法改悪を止め



るために声を上げよう、立ち上がろう!」との集会でした。会場は私と同じ高齢者でいっぱいになりました。

聞く耳を持たない事例はまだまだありますが、極めつけは国民の7割以上が不安や反対の声を上げていたマイナナンバーカードと保険証の一体化です。トラブル続きの「マイナ保険証」の利用状況をめぐり、患者が医療機関や薬局にかかった際の保険資格確認の件数が5月から3カ月連続で減少し、利用率は5%を割ったことが9月の厚生労働省の調査で明らかになりました。それでも岸田首相は来年9月の保険証廃止を変えようとしていません。

さすがに、支持率の低迷を避けようと9月に内閣改造・自民党役員人事を行いました。時事通信の10月の世論調査では岸田内閣の支持率は前月比1・7ポイント減の26・3%と過去最低になりました。

10月3日の記者会見で岸田首相は「これから先送りできない課題の一つ一つ正面から向き合い、決断し実行していくことが重要だ」と述べましたがとんでもありません。一刻も早く退陣してほしいものです。

「澤地さん（澤地さんは腰椎骨折で現在車椅子、この日も座ったの挨拶でした）」と決意を述べられました。

「正しい戦争」などない講演した田中優子さんは和服で登壇、前法政大学総長で9条の会世話人です。「正しい戦争」はどこにもない、と1時間話されました。とくに「ウクライナ戦争は長引くと世界戦争に近づく、即刻停戦させなければならぬ」「平和を求め軍拡を許さない女たちの会を結成した」「軍事費43兆円を使うことは許さ

さすがに、支持率の低迷を避けようと9月に内閣改造・自民党役員人事を行いました。時事通信の10月の世論調査では岸田内閣の支持率は前月比1・7ポイント減の26・3%と過去最低になりました。

10月3日の記者会見で岸田首相は「これから先送りできない課題の一つ一つ正面から向き合い、決断し実行していくことが重要だ」と述べましたがとんでもありません。一刻も早く退陣してほしいものです。

「澤地さん（澤地さんは腰椎骨折で現在車椅子、この日も座ったの挨拶でした）」と決意を述べられました。

「正しい戦争」などない講演した田中優子さんは和服で登壇、前法政大学総長で9条の会世話人です。「正しい戦争」はどこにもない、と1時間話されました。とくに「ウクライナ戦争は長引くと世界戦争に近づく、即刻停戦させなければならぬ」「平和を求め軍拡を許さない女たちの会を結成した」「軍事費43兆円を使うことは許さ

文学散歩

芥川 龍之介

日本を代表する文豪のひとりである芥川龍之介(1892年～1927年)は、明治25年に東京市京橋区(現在の東京都中央区明石町)に生まれ、少年期を東京下町(本所周辺)で過ごしました。大正5年(1916)東京帝国大学在学中に発表した「鼻」が、夏目漱石に評価され文壇に登場、数多くの作品を残しました。

【田端文士村記念館】※10月末まで工事で休館中

芥川龍之介をはじめとする田端ゆかりの文士・芸術家100人以上の功績を通じて「田端文士村」という歴史を次代に継承することを目的に平成5年に設立されました。田端文士・芸術家たちの作品等を展示するとともに、講演会や散策会を通じて業績や暮らしぶりなどをご紹介します。

常設展示では、芥川家が田端で暮らした家を1/30ほどの大きさで復元した模型をはじめ、芥川龍之介の関連資料や関連パネルなど展示しています。また、この館のオリジナル映像「芥川龍之介」13分を自由にご覧いただけます。



所在地：北区田端6-1-2

開館時間：午前10時から午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は火・水曜日が休館)

祝日の翌日(祝日の翌日が土・日曜日の場合は翌週火曜日が休館)

年末年始(12月29日～1月3日)

その他、展示替え等での臨時休館があります。

※臨時休館 10月末まで休館中。

再開の日程は決まり次第ホームページに掲載。

入館料：無料

問合せ先：TEL 03-5685-5171

(公財) 北区文化振興財団

ホームページ：

http://kitabunka.or.jp/kitaku_info/index.php

交通：■京浜東北線・山手線「田端駅」北口徒歩約2分

■都営バス(東43、端44)「田端駅前」停留所徒歩約2分

駐車・駐輪場：近隣の有料施設をご利用ください。

【芥川龍之介旧居跡】

JR田端駅近くの高台の一面にあるのが、芥川龍之介の旧居跡で、建物は現存していませんが、大正3年～昭和2年の間13年間にわたって田端に暮らし「羅生門」「鼻」「河童」「歯車」など代表作を執筆しました。

所在地：東京都北区田端1丁目19-18

交通：JR京浜東北線・山手線「田端駅」南口徒歩約5分



【たばこと塩の博物館】

この博物館は、専売品であった「たばこ」と「塩」の歴史と文化をテーマとする博物館で、たばこ塩に関する資料の収集、調査、研究を行っています。

文学散歩ゆかりの地ではありませんが、芥川龍之介に関する特別展が開催されています。

◆特別展「芥川龍之介がみた江戸・東京」

2023年9月16日(土)～11月12日(日)

本展では、芥川龍之介の人生と作品と共に彼が見たであろう変化する東京の風景について紹介。合わせて、彼が愛煙したゴールデンパットをはじめ、細刻みたばこから紙巻きたばこに大きく変化していった当時のたばこ事情についても紹介しています。

所在地：墨田区横川1-16-3

開館時間：午前10時から午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

年末年始(12月29日～1月3日)

展示替え等での臨時休館あり

入館料：大人100円、満65才以上50円(要証明書)、小・中・高校生50円

※特別展によって特別料金を設定する場合あります

※障害者の方は、障害者手帳(ミライロID可)などの提示で付き添いの方1名まで無料

問合せ先：TEL 03-3622-8801

ホームページ：<https://www.tabashio.jp>

交通：■東京メトロ半蔵門線、東武線、京成線、都営浅草線「押上駅」より徒歩約12分

■都営浅草線「本所吾妻橋」より徒歩約10分

■東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー駅」より徒歩約10分

駐車場：なし

脳トレ 漢字足し算パズル

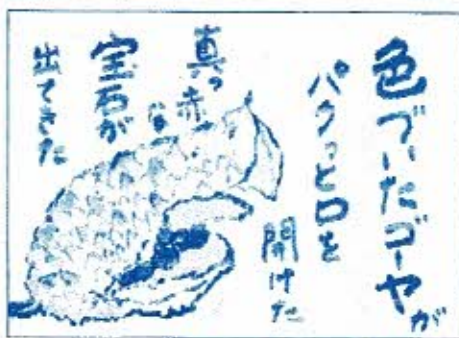
4つの漢字を2字ずつあるいは3字と1字に組み合わせ、二字熟語を作ってください。

問題の漢字の順序はバラバラになっています。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 牛 | 寺 | 制 | 衣 | = |
| ② | 田 | 雨 | 口 | 鳥 | = |
| ③ | 車 | 木 | 去 | 交 | = |
| ④ | 可 | 可 | 欠 | 声 | = |
| ⑤ | 口 | 走 | 取 | 未 | = |
| ⑥ | 言 | 糸 | 羊 | 田 | = |
| ⑦ | 生 | 九 | 米 | 十 | = |
| ⑧ | 莫 | 刑 | 土 | 木 | = |

答えは3ページ

絵手紙



土屋喜代子さん

つなごう 憲法をいかす未来へ 11・3憲法大行動

日時：11月3日(金・休)

午後1時45分～3時10分

場所：国会正門前

<退職者会の集合>

午後1時15分に

地・永田町駅2番出口(地上)